

平成 18 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 グッドウィル・グループ株式会社

代表者名 代表取締役会長 折口 雅博

(コード番号 4723 東証第 1 部)

問合せ先 常務取締役管理本部長兼会長室長 金崎 明

(TEL. 03 - 3405 - 9228)

中間期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 10 月 27 日公表の平成 18 年 6 月期(平成 17 年 7 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日)中間期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結中間期 業績予想数値の修正(平成 17 年 7 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A)	80,000	2,000	500
今 回 修 正 予 想(B)	87,500	3,270	1,250
増 減 額(B - A)	+7,500	+1,270	+750
増 減 率(%)	+9.3%	+63.5%	+150.0%
(ご参考) 前 期 実 績(平 成 16 年 12 月 期)	67,959	2,955	1,507

- (注) 1. 売上高の平成 18 年 6 月期中間期連結業績予想は、従来公表の 80,000 百万円から 87,500 百万円に上方修正いたします。
2. 経常利益の平成 18 年 6 月期中間期連結業績予想は、従来公表の 2,000 百万円から 3,270 百万円に上方修正いたします。
3. 当期利益の平成 18 年 6 月期中間期連結業績予想は、従来公表の 500 百万円から 1,250 百万円に上方修正いたします。

2. 連結中間期 業績修正の理由

予想修正の主な内容は、以下のとおりです。

- ・ 売上高は、日本経済の回復に伴い好調な景気に支えられ、企業の業務量の増加に対応し受注の増加傾向が第 2 四半期期初から顕著となり、特に子会社「グッドウィル」の受注が大幅に増加したこと、子会社「コムスン」においても介護ビジネスにおける在宅・施設ともに顧客からのニーズの高まりを取り込み、計画数値を上回ったことにより、前回予想の 800 億円から 875 億円に修正いたします。
- ・ 経常利益・当期利益に関しましては、子会社「グッドウィル」が 2005 年 12 月単月売上高で 100 億円超(過去最高)、子会社「コムスン」も 2005 年 12 月単月売上高 55 億円超(過去最高)となるなど、両コアビジネスの売上高が拡大したこと、また、両コアビジネスとも新規支店出店のペースをコントロールすることにより、前期に大量支店出店の先行投資を吸収するステージに入ったことなどが収益に貢献しております。結果、前回予想経常利益 20 億円から 32 億 7 千万円に、前回予想当期利益 5 億円から 12 億 5 千万円に修正いたします。

3. 連結通期・個別中間期・個別通期業績について

外部環境は好転しておりますが、経済状況および市場の急激な変動等を鑑み、連結通期業績予想数値については変更していません

純粋持株会社である個別中間期・個別通期業績予想については、平成 17 年 8 月 23 日公表した予想数値を変更していません。

将来見通しに関するリスク情報

業績見通しは、現在入手可能な情報と当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

以 上